

要 望 書

2024(令和6)年6月5日

内閣総理大臣 岸田文雄 様
厚生労働大臣 武見敬三 様
厚生労働省 感染対策部 御中

全国コロナ後遺症患者と家族の会

第1 要望の趣旨

新型コロナウイルスによる死者やコロナ後遺症の患者がこれ以上増えないように、新型コロナウイルスの『注意報・警報』を然るべき所から発令するよう、対策・対応をいただきたい。

第2 要望の理由

感染症発生動向調査の定点把握感染症のうち、流行状況を早期に把握することが必要です。季節性インフルエンザの場合、感染者が増えてくると注意報や警報が出ますが、新型コロナウイルスはそれすらありません。せめてインフルエンザ並みの基準を作らないと、このままでは尊い命が失われ続けます。

新型コロナウイルスは季節性インフルエンザと比較にならないほどの重症化率、死亡率です(下図)。

年	インフルエンザ 死者 (人)	新型コロナ 死者 (人)	新型コロナ 感染者 (人)
2015	2,262		
2016	1,463		
2017	2,569		
2018	3,325		
2019	3,571		
2020	956	3,466	235,895
2021	22	16,756	1,497,520
2022.11	16	37,848	27,508,934

厚生労働省が発表している人口動態調査や死亡診断書によると、“コロナ関連の死亡者数”は、今年1～2月だけで、すでに約1万人を超えています。昨年12月から

今年2月の“第10波”による死亡者数は、合計約1万3千人となっています。最多の死者（約2万6千人）を出した第8波（2022年11月～2023年1月）、2番目（約1万6千人）の第7波（2022年7～9月）に次ぐ多さとなっています。重症化率でも、新型コロナは2.49%、季節性インフルエンザは0.79%（いずれも60歳以上、厚労省調べ）と3倍以上の差がある。

こういったことから新型コロナウイルスの定点報告数の基準値を早急に定めることが必要であり、要望します。

以上